

特集

周産期の メンタルヘルスのために 助産師ができること、 すべきこと

近年、日本の産後うつ¹の発生率は減少傾向にあるものの依然 10%を超えており、周産期のメンタルヘルス対策を充実させることの重要性は言を俟ちません。

そうした状況のなか、臨床で日々妊産褥婦とかわる助産師がメンタルヘルスケアに関して求められるものは、今後さらに大きくなっていくと思われます。

本特集では、まず、周産期のメンタルヘルスケアについての動向と助産師の役割、精神医学の基礎知識について解説していただきます。そのうえで、病院、クリニック、自治体の現場で実際に行なわれている活動について具体的に紹介していただき、容易ではないメンタルヘルスの問題に現場の助産師が取り組む際の一助になることを目指します。

